

2024年度 事業報告書

附 一般会計収支決算書

附 (2025年度事業計画)
(2025年度一般会計予算)



一般社団法人 津山青年会議所



一般社団法人 津山青年会議所

第67代理事長 松田和也

事業報告書

1949年「明るい豊かな社会の実現」を理想とし、責任感と情熱をもった青年有志による東京商工会議所（商工会議所法制定にともない青年会議所と改名）設立から、日本の青年会議所（JC）運動は始まりました。その後、青年たちの共に向上し合い、社会に貢献しようという理念をもとに全国各地に次々と青年会議所が誕生しました。1951年には全国的な運営の総合調整機関として日本青年会議所（日本JC）が設けられ、私達の住む「つやま」にも、その素晴らしい理想、理念を実現すべく1958年に津山青年会議所が誕生しました。設立以来、多くの先輩諸兄がこの「つやま」の今以上に素晴らしい未来を目指し、熱い情熱のもと多くの困難を乗り越え、本年度で67年目を迎える事ができました。昨今、日本を取り巻く環境は混沌とした状態が続いています。2020年の新型コロナウイルス感染症のまん延が落ち着きをみせた矢先、世界情勢、構造の変化による物価の高騰や、温暖化以上の沸騰化などの環境問題など、多くの問題があります。また、人口減少、労働力人口の減少により発生した2024年問題、また、2025年には超高齢化社会が到来するといった、地域の未来を見据える上で、様々な人的問題があります。この様に私達を取り巻く環境は非常に厳しい時代ですが、悲観的になっても仕方がありません。過去に遡る事は出来ませんが、未来を変える行動を起こす事は出来ます。67年目を迎えた本年は、「Passion for the Best」とスローガンを掲げ、情熱から生まれる行動力が最高の未来をつくるという想いで、会員一丸となって事業実施を行って参りました。

私達の住み暮らす「つやま」は中国山地に囲まれ、また中央には吉井川の豊かな水源を持ち、歴史的にも出雲街道の要衝として栄えてきました。地域のランドマークとして存在する津山城を中心とした城下町として栄え、日本の桜の名所百選の一つにも数えられています。近年では日本で2番目に大きい旧津山扇形機関庫があるように、交通の要衝として栄えてきました。市街地では、江戸、明治、大正、昭和といった時代を感じる建築物が沢山あり、この地域が今の時代まで歩んできた面影を感じる事ができます。本年は、その多くの場所で森の芸術祭が実施され、多くの方に津山の魅力を感じていただく機会もありました。しかし、豊かな自然と歴史ある地域でありながら、この地域に住む私達は身近過ぎる故、数えきれない魅力を知り、郷土愛と誇りを持っているのでしょうか。我々は本年、1月1日に発災した、能登半島地震では1月3日には2.4tの飲料水の発送、1月26日、1月27日には募金活動の実施、3月初旬には現地での支援を実施しました。ご支援にご協力いただいた関係各所の皆様には改めて御礼を申し上げます。

地域活性化事業としては、TSUYAMA Short Movie ～主人公はあなた～を実施させていただきま

した。市民の皆様に参加していただき、「つやま」の数多くの魅力ある場所に行き、3分間のストーリー動画を作成し、発信することで、この地域の魅力を多くの方に感じてもらい、郷土愛と誇りを醸成すべく実施させていただきました。

また、地域の未来を担う子ども達に対しては、青少年健全育成を目的とした Grateful 3Days 神郷高瀬サマーキャンプを開催させていただきました。小学校4年生から6年生の子ども達が親元を離れ、3日間の宿泊型体験学習を通して、非日常の中に身を置き、他者や自然との関わりの中で喜びや苦しみ、驚きや感動を味わい、すべてのものは全体の一部であり、あくまでも全体の中に自分が存在しているという自己を超越した利他の精神を学び、人格形成の重要な要素である感謝の気持ちを育むことを目的とした事業を実施しました。こういった運動を通じて、我々の愛する津山に住む方々が、地域を愛し、誇りを持ち、自分達のまちは自分達で創るという気持ちを持っていただけならば、この「つやま」はさらに素晴らしいまちとなると信じております。

結びにあたり、私達（一社）津山青年会議所は67年に渡り、「つやま」のことを真剣に考え、その時の問題を解決すべく行動して参りました。沢山の運動を継続して行わせていただけるのも、地域の皆様のご指導、ご鞭撻、ご協力あつてのことだと思います。今後とも皆様の方におかれましては、ご支援、ご協力をお願いするとともに、至らない折には、ご指導、ご鞭撻いただきますことをお願い申し上げます。ここに感謝の気持ちを申し上げ、第67代理事長として挨拶に代えさせていただきます。一年間誠にありがとうございました。

理事長公職一覧

名 称	役 職	名 称	役 職
「社会を明るくする運動」津山市推進委員会	常任委員	津山市人権尊重の教育推進協議会	委 員
特定非営理活動法人つやまNPO支援センター	理 事	津山市スポーツ協会	委 員
津山観光キャンペーン推進会議	委 員	津山市青少年育成センター運営審議会	委 員
津山ガン対策協議会	理 事	津山市男女共同参画まちづくり審議会	委 員
津山空路利用促進協議会	監 事	津山市中心市街地活性化協議会	委 員
津山警察署管内暴力追放推進連合会	会 員	津山市手をつなぐ育成会	代議員
津山圏域定住自立圏共生ビジョン懇談会	委 員	津山市ファシリティマネジメント委員会	委 員
津山さくらまつり実行委員会	実行委員	津山市部活動の在り方検討及び地域連携、地域移行推進会議	委 員
つやま産業支援センター	委 員	津山市文化振興事業基金運営委員会	委 員
津山サンタフェ友好協会	役 員	津山商工会議所青年部	
津山市安心安全まちづくり推進協議会	委 員	津山納涼ごんごまつり実行委員会	
公益社団法人津山市観光協会	理 事	津山文化振興財団	理 事
津山市献血推進委員会	委 員	津山防衛協会	委 員
津山市交通安全対策協議会	委 員	津山まつり実行委員会	委 員
津山市市民憲章推進協議会	副会長	美作地区中学校野球選手権大会	副会長
津山市社会教育委員会	委 員		
津山市社会教育委員	委 員		
津山市社会福祉協議会	評議員		
津山市生涯学習推進会議	委 員		

組 織

1. 正会員

2023 年度末会員数	37 名
2024 年度新加入者数	6 名
2024 年度中途退会者数	2 名
2024 年度末会員数	37 名

会員移動明細

区分	氏 名	勤 務 先	役 職
新加入者	植月 優	株式会社 中国銀行	主任
	小椋 一樹	有限会社 小椋創建	取締役
	佐野 太紀	有限会社サンライト	常務取締役
		有限会社 satera	
	田中 陽祐	株式会社 鳥取銀行	次長
	永禮 達大	株式会社 脇木工	工場長
	山本 祐輔	株式会社 YM コーポレーション	取締役工場長

2024年度限退会者

区分	氏 名	勤 務 先	役 職
年限退会者	大上 晋治	株式会社おおうえ	代表取締役
	杉本 諭隆	モモハウス株式会社	
	豊福 祥旗	株式会社 Original Quchi	取締役
	山本 右己	山本建装	
	芦田 雅嗣	有限会社さしこう	代表取締役社長
	小笠原 翔太	株式会社エックスランド	

2024年度退会者

藤井 克巳

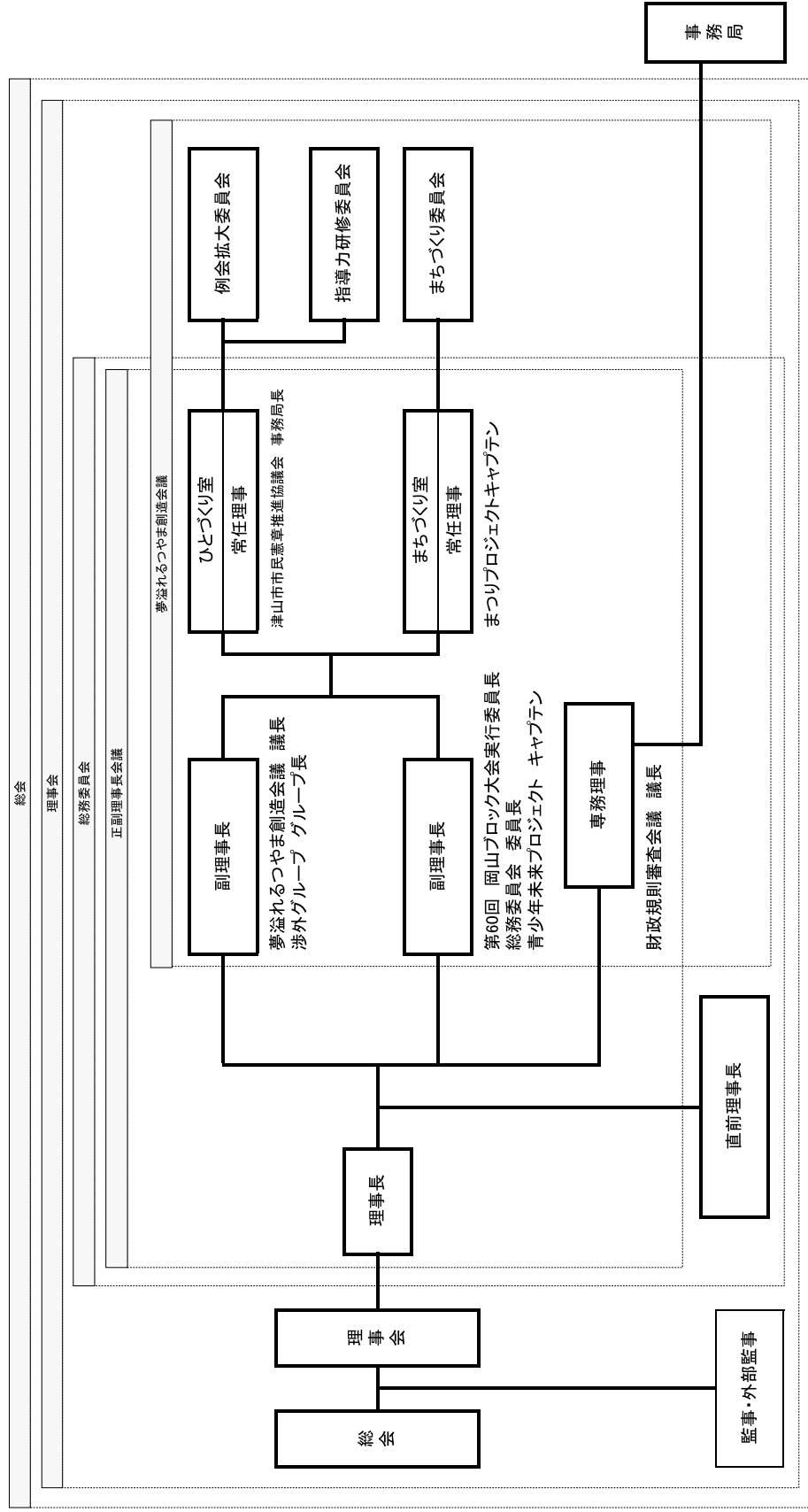
山岡 稔尚

特別会員 2024年度末会員数 387名

2024年度 一般社団法人 津山青年会議所 理事・役員名簿

理直	事前	理事	長	松田 和也	(正副理事長会議議長)
副直	前理	理事	長	小笠原翔太	(岡山ブロック協議会副会長)
副副	理理	理事	長	岡 孝男	(夢溢れる津山創造会議議長、渉外グループ長)
副副	理理	理事	長	芦田 雅嗣	(第60回岡山ブロック大会実行委員長、総務委員会委員長、青少年未来プロジェクトキャプテン)
専	務	理事	長	國米 智洋	(財政規則審査会議議長、広報グループ長)
ひと	とづ	くり	室	藤本 裕文	(津山市市民憲章推進協議会事務局長)
ま	ち	づ	くり	森岡 寛人	(まつりプロジェクトキャプテン、鶴山を考える会)
例	会	拡	大	松島 幸一	
指導	力	研	修	山本 右己	
ま	ち	づ	くり	玉田林太郎	
監				豊福 祥旗	(日本青年会議所 経済グループ サマーコンファレンス特別委員会委員)
外	部	監		眞木 祐治	
(出向者)					
日	本	青	年	延原 健	(日本青年会議所 総務グループ 総務委員会委員)
日	本	青	年	山本 康太	(日本青年会議所 総務グループ 新JCビル建設準備委員会委員)
日	本	青	年	森本 莉彩	(日本青年会議所 経済グループ サマーコンファレンス特別委員会委員)
岡	山	ブ	ロ	上山 春洋	(副会長幹事、全国城下町青年会議所連絡協議会 理事)
岡	山	ブ	ロ	山形 朋椰	(副会長幹事)
岡	山	ブ	ロ	齊藤 優	(副会長幹事)
岡	山	ブ	ロ	光井 聡	(共感を生み出すブランディング会議議長)
岡	山	ブ	ロ	前田 哲弥	(理念共感拡大ブランドデザイン推進委員会委員)
岡	山	ブ	ロ	入木 圭	(郷土愛あふれる岡山創造委員会委員)
岡	山	ブ	ロ	小松原綾乃	(想い合う心あふれる人財育成委員会委員)

一般社団法人 津山青年会議所 2024年度 組織図



理事 10名
役員 2名

2024年度 一般社団法人津山青年会議所 所属表

理事長	直前理事長	副理事長	副理事長	専務理事	監事	外部監事
松田 和也	小笠原 翔太	岡 孝男	芦田 雅嗣	國米 智洋	豊福 祥旗	眞木 祐治
総務委員会	委員長 芦田 雅嗣	副委員長 小笠原 翔太	委員 松田、小笠原、岡、國米、藤本、森岡			
ひとづくり室常任理事						
藤本 裕文	例会拡大委員会	委員長 松島 幸一	副委員長 杉本 論隆	幹事 山形 朋椰	委員 河本、森本、山本(康)、大上、末永	
	指導力研修委員会	委員長 山本 右己	副委員長 小松原 綾乃	幹事 光井 聡	委員 西村、神崎、齋藤(雄)、前田、藤井	
まちづくり常任理事						
森岡 寛人	まちづくり委員会	委員長 玉田 林太郎	副委員長 日笠 七菜子	幹事 宮永 卓	委員 延原、朝比奈、上山、入木、山岡、齋藤(優)	
正副理事長会議	議長 松田 和也	副議長 岡 孝男	議員 芦田、國米、藤本、森岡	グループ長 岡 孝男	副グループ長 河本 啓彰	メンバー 山形、光井、宮永
夢溢れるつやま創造会議	議長 岡 孝男	副議長 國米 智洋	議員	議長 芦田、藤本、森岡、松島、山本(右)、玉田、杉本、小松原、日笠		
第60回岡山ブロック大会実行委員会	実行委員長 芦田 雅嗣	副実行委員長 河本 啓彰	神崎 大輔	幹事 入木 圭	委員 國米、杉本、小松原、日笠、延原、大上、森本、末永、齋藤(優)	
財政規則審査会議	議長 國米 智洋	副議長 朝比奈 京平	議員 松島、山本(右)、玉田	津山市市民憲章推進協議会	副会長 松田 和也	事務局員 事務局長 藤本 裕文 松島、山本(右)、玉田
青少年未来プロジェクト	キャプテン 芦田 雅嗣	副キャプテン 岡 孝男	幹事 國米 智洋	メンバー 藤本、森岡、杉本、上山、山本(康)、西村、森本、前田、齋藤(雄)		
まつりプロジェクト (ごんごまつり企画部会)	キャプテン 森岡 寛人	副キャプテン 前田 哲弥	メンバー 齊藤(優)、山形、宮永、光井、朝比奈、森本、山本(康)、西村、末永、上山	広報グループ	グループ長 國米 智洋	メンバー 朝比奈 京平 大上、前田、山形、光井、宮永

2024年度 理事会事業報告

月 日	審／協	議案名	担 当	会 場
1月9日	審議	1 公益社団法人日本青年会議所 中国地区 岡山ブロック協議会 2024年度第60回岡山ブロック大会津山大会事業計画並びに予算(案)について(式典)	第60回 岡山ブロック大会 実行委員会	津山商工会館議員室
	審議	2 公益社団法人日本青年会議所 中国地区 岡山ブロック協議会 2024年度第60回岡山ブロック大会津山大会事業計画並びに予算(案)について(PR)	第60回 岡山ブロック大会 実行委員会	
	審議	3 新会員研修会の企画・設営・実施(案)について(前期新会員研修編)	指導力研修 委員会	
2月9日	審議	1 会員開発に関する事項に関する事業報告書(案)並びに決算書(案)について	例会拡大 委員会	津山商工会館議員室
3月8日	審議	1 新年懇親会の企画・設営・実施に関する事業報告書(案)及び事業収支決算書(案)について	ひとづくり室	津山商工会館議員室
	審議	2 新会員に関する事項に関する事業報告書(案)及び事業収支決算書(案)について(前期新会員研修 導入編)	指導力研修 委員会	
4月8日	審議	1 公益社団法人日本青年会議所 中国地区 岡山ブロック協議会 第60回岡山ブロック大会事業計画並びに予算(案)について(記念事業)	第60回 岡山ブロック大会 実行委員会	津山商工会館議員室
	審議	2 新会員に関する事項に関する事業計画書(案)及び事業収支予算書(案)について(後期新会員研修 導入編)	指導力研修 委員会	
5月9日	審議	1 青少年、教育のための諸問題に関する事項に関する事業計画書(案)及び事業収支予算書(案)について	青少年未来 プロジェクト	津山商工会館議員室
	審議	2 2024年度8月例会 例会時間変更の件(案)	ひとづくり室	
	審議	3 納涼会の企画・設営・実施に関する事業計画書(案)及び事業収支予算書(案)について	ひとづくり室	
	審議	4 新会員研修会の企画・設営・実施に関する事業報告書(案)及び事業収支決算書(案)について(前期 研修編)	指導力研修 委員会	
6月10日	審議	1 7月例会日程変更の件(案)	(一社)津山 青年会議所	津山商工会館議員室
	審議	2 入会、休会及び希望退会の受付並びに自動退会及び除名の取り扱いについて	総務委員会	

	審議	3	防災・減災・復旧に関する事項に関する事業報告書(案)及び事業決算書(案)について	総務委員会	
	審議	4	2024年度(一社)津山青年会議所修正予算書(案)について	財政規則 審査会議	
	審議	5	地域活性化のための諸問題に関する事業計画書(案)及び事業収支予算書(案)について	まちづくり 委員会	
6月19日	審議	1	入会、休会及び希望退会の受付並びに自動退会及び除名の取り扱いについて	総務委員会	津山鶴山ホテル
	審議	2	2024年度(一社)津山青年会議所修正予算書(案)について	財政規則 審査会議	
	審議	3	公益社団法人 日本青年会議所 中国地区 岡山ブロック協議会 2025年度会長候補者推薦(案)について	(一社)津山 青年会議所	
7月9日			無し		津山商工会館議員室
8月9日	審議	1	2024年度一般社団法人津山青年会議所修正予算書(案)について	財政規則 審査会議	津山商工会館議員室
	審議	2	納涼会の企画・設営・実施に関する修正事業計画書(案)及び修正事業収支予算書(案)について	ひとづくり室	
	審議	3	新会員に関する事項に関する事業報告書(案)及び事業収支決算書(案)について(後期 新会員研修 導入編)	指導力研修 委員会	
9月9日	審議	1	10月例会日程変更の件(案)	(一社)津山 青年会議所	津山商工会館議員室
	審議	2	第60回岡山ブロック大会の統括管理に関する事業報告書(案)並びに事業収支決算書(案)について(PR)	第60回 岡山ブロック大会 実行委員会	
10月9日	審議	1	入会、休会及び希望退会の受付並びに自動退会及び除名の取り扱いについて	総務委員会	津山商工会館議員室
	審議	2	公益社団法人日本青年会議所 中国地区 岡山ブロック協議会 第60回岡山ブロック大会事業報告書(案)及び事業収支決算書(案)について(記念事業)	第60回 岡山ブロック大会 実行委員会	
	審議	3	納涼会の企画・設営・実施に関する事業報告書(案)並びに事業収支決算書(案)について	ひとづくり室	
	審議	4	望年会・卒業式の企画・設営・実施に関する事業計画書(案)及び事業収支予算書(案)について	ひとづくり室	

	審議	5	地域活性化のための諸問題に関する事業の企画・設営・実施に関する事業報告書(案)並びに事業収支決算書(案)について	まちづくり委員会	
11月8日	審議	1	入会、休会及び希望退会の受付並びに自動退会及び除名の取り扱いについて	総務委員会	津山商工会館議員室
	審議	2	青少年、教育のための諸問題に関する事項に関する事業報告書(案)及び事業収支決算書(案)について	青少年未来プロジェクト	
	審議	3	12月例会 例会時間変更の件(案)	ひとづくり室	
12月9日	審議	1	2025年度(一社)津山青年会議所新会員について	総務委員会	津山商工会館議員室
	審議	2	2025年度(一社)津山青年会議所特別会員について	総務委員会	
	審議	3	2024年度(一社)津山青年会議所補正予算書(案)について	財政規則審査会議	
	審議	4	2025年度(一社)津山青年会議所事業計画(案)承認について	(一社)津山青年会議所	
	資料	1	2025年度基本理念(案)		
	資料	2	2025年度活動基準(案)		
	資料	3	2025年度組織図(案)		
	資料	4	2025年度所属表(案)		
	資料	5	2025年度理事・役員名簿(案)		
	資料	6	2025年度各室・各委員会事業計画並びに年間フレーム		
	審議	5	新年懇親会の企画・設営・実施に関する事業計画書(案)及び事業収支予算書(案)について	2025年度VISION推進会議	
	審議	6	2025年度1月例会時間変更の件(案)について	2025年度ひとづくり室	
	審議	7	会員開発に関する事項に関する事業計画書(案)及び事業収支予算書(案)について	2025年度会員研修委員会	
	審議	8	新会員に関する事項に関する事業計画書(案)及び事業収支予算書(案)について	2025年度指導力育成委員会	

2024年度 行事・事業一覧

月 日	内 容
1月 1日	迎春の会、商工会議所新年互礼会、第 1 回正副理事長会議
1月 3日	令和 6 年能登半島地震 支援物資発送
1月 9日	新年挨拶回り・1 月理事会
1月11日	新年挨拶周り・OB 総会
1月18日	1 月例会・新年懇親会
1月19日	京都會議
1月20日	京都會議・全国城下町青年會議所連絡協議会 通常総会
1月21日	京都會議・宮古 JC 歓迎会
1月26日	令和 6 年能登半島地震 募金活動
1月27日	令和 6 年能登半島地震 募金活動
2月 1日	正副理事長会議
2月 6日	鶴山を考える会 総会
2月 7日	第 46 回津山納涼ごんごまつり 第 1 回企画部会
2月 8日	第 60 回岡山ブロック大会津山大会 PR キャラバン（総社 JC・高梁 JC 合同例会）
2月 9日	2 月理事会
2月10日	津山市立南小学校姉妹校交流 60 周年 地域交流会
2月14日	野球部 決起集会
2月19日	2 月例会
2月21日	野球部練習（バッティングセンター）
2月28日	野球部練習（西部公園グラウンド）
2月29日	県北 4JC 第 1 回合同役員会議（真庭）
3月 1日	正副理事長会議
3月 2日	令和 6 年能登半島地震 炊き出し
3月 3日	令和 6 年能登半島地震 炊き出し
3月 6日	野球部練習（西部公園グラウンド）
3月 7日	第 46 回津山納涼ごんごまつり第 2 回企画部会議
3月 8日	3 月理事会
3月11日	第 60 回岡山ブロック大会津山大会 PR キャラバン（倉敷 3JC 合同例会）
3月13日	野球部練習（西部公園グラウンド）
3月14日	第 60 回岡山ブロック大会津山大会 PR キャラバン（笠岡 JC・井原 JC 合同例会）
3月15日	異業種交流会
3月17日	新会員研修会（雇用労働センター）
3月19日	3 月例会

3月21日	第 60 回岡山ブロック大会津山大会 PR キャラバン（岡山 JC 第 2 例会）
3月25日	県北 4JC 第 2 回合同役員会議（新見）
3月26日	第 93 回岡山ブロックじゃがいも大会下見ラウンド
3月28日	野球部練習（バッティングセンター）
3月30日	岡山ブロック新会員研修会
4月 1日	正副理事長会議
4月 2日	第 46 回津山納涼ごんごまつり第 3 回企画部会議
4月 3日	津山 JC・美作 JC 野球部合同練習会（バッティングセンター）
4月 8日	4 月理事会
4月10日	野球部練習（西部公園グラウンド）
4月12日	野球部練習（西部公園グラウンド）
4月18日	県北 4JC ブロック会長公式訪問合同例会・第 60 回岡山ブロック大会津山大会 PR キャラバン（県北 4JC 合同例会）
4月19日	4 月例会
4月20日	鶴山を考える会
4月26日	第 46 回津山納涼ごんごまつり第 4 回企画部会議
4月28日	第 72 回岡山ブロック会員懇親野球大会
4月30日	第 60 回岡山ブロック大会津山大会 PR キャラバン（玉野 JC・西大寺 JC・備前 JC 合同例会）
5月 1日	正副理事長会議
5月 9日	5 月理事会
5月10日	第 93 回岡山ブロックじゃがいも大会
5月11日	鳥取 JC 創立 65 周年記念式典
5月13日	交流ボーリング大会
5月19日	5 月例会
5月23日	第 46 回津山納涼ごんごまつり第 5 回企画部会議
5月24日	清掃活動～みんなのまちをきれいに～
5月29日	後期新会員面接
6月 1日	正副理事長会議
6月 7日	ASPAC アンコール大会
6月 8日	ASPAC アンコール大会
6月 9日	ASPAC アンコール大会
6月10日	6 月理事会
6月13日	後期新会員顔合わせ会
6月19日	6 月例会
6月20日	第 46 回津山納涼ごんごまつり第 6 回企画部会議
6月25日	津山 YEG・津山 JC 交流会「サッセン交流会」

6月26日	鶴山を考える会
6月28日	中国地区コンファレンス
6月29日	中国地区コンファレンス
7月 1日	正副理事長会議
7月 6日	第 60 回岡山ブロック大会津山大会
7月 9日	7 月理事会
7月12日	中間監査
7月18日	7 月例会
7月19日	サマーコンファレンス
7月20日	サマーコンファレンス
7月21日	サマーコンファレンス
7月25日	交流会「専門家に聞く！今、知りたい業界分析セミナー」
7月26日	第 46 回津山納涼ごんごまつり 第 7 回企画部会及び『決起集会』
7月28日	TSUYAMA Short Movie ～主人公はあなた～ 1 日目（学び、考える日）
8月 1日	正副理事長会議
8月 3日	第 46 回津山納涼ごんごまつり
8月 4日	第 46 回津山納涼ごんごまつり
8月 7日	Grateful 3Days 神郷高瀬サマーキャンプ 第 1 回サポーター研修会
8月 9日	8 月理事会
8月10日	TSUYAMA Short Movie ～主人公はあなた～ 2 日目（体験し、生み出す日）
8月18日	Grateful 3Days 神郷高瀬サマーキャンプ 団結式・保護者説明会
8月19日	8 月例会・納涼会
8月22日	Grateful 3Days 神郷高瀬サマーキャンプ
8月23日	Grateful 3Days 神郷高瀬サマーキャンプ・第 43 回全国城下町シンポジウム犬山大会
8月24日	Grateful 3Days 神郷高瀬サマーキャンプ・第 43 回全国城下町シンポジウム犬山大会
8月25日	第 43 回全国城下町シンポジウム犬山大会
9月 2日	正副理事長会議
9月 3日	2024 年度県北 4JC ジャがいも大会
9月 9日	9 月理事会
9月10日	第 3 回県北 3JC 合同役員会議
9月13日	TSUYAMA Short Movie ～主人公はあなた～ 3 日目（発信する日）
9月15日	岡山ブロック懇親サッカー大会
9月16日	次年度第 1 回理事会
9月17日	観月と邦楽の夕べ
9月19日	9 月例会

9月24日	次年度第1回委員会
9月26日	第46回津山納涼ごんごまつり第8回企画部会議
9月27日	津山青年友好3団体トップ会議・懇親会
9月29日	美作JC創立50周年記念式典並びに記念祝賀会
9月30日	次年度運営会計説明会
10月1日	正副理事長会議
10月4日	第73回全国大会 福岡大会
10月5日	第73回全国大会 福岡大会
10月6日	第73回全国大会 福岡大会
10月9日	10月理事会
10月17日	第50回岡山JC 津山JC 交歓会
10月18日	10月例会
10月19日	諫早JC創立60周年記念式典・祝賀会
10月20日	津山まつり（大隅神社）
10月27日	津山まつり（徳守神社）
11月1日	正副理事長会議
11月8日	11月理事会
11月13日	津山JC野球部 美作JC合同追い出し野球
11月14日	燃えよ 青年の会
11月19日	11月例会
11月20日	第5回異業種交流会
11月24日	2024年度岡山ブロック AWARDS 2024・卒業式
11月28日	鶴山を考える会
12月1日	本次年度正副理事長会議
12月2日	2024年度前期新会員面接
12月9日	本次年度理事会
12月10日	県北4JC本次年度役員会議
12月11日	2024年度前期新会員顔合わせ
12月14日	宮古JC 津山JC 姉妹締結60周年記念式典及び祝賀会
12月15日	宮古JC 津山JC 姉妹締結60周年記念式典及び祝賀会
12月17日	第36回津山JC・OB会ゴルフコンペ並びに2024年度津山JC卒業予定者追い出しゴルフコンペ
12月19日	12月例会・望年会



2024年度 報告書

直前理事長

小笠原 翔太

2024年度は「Passion for the Best」というスローガンを掲げられた松田理事長のもと、直前理事長として、また出向をいたしました岡山ブロック協議会副会長として、ラストイヤーとなる13年目をメンバーの皆様と共に歩ませていただきました。

私はこれまで本当に多くのご指導をいただきました先輩やお支えをいただきましたメンバーの皆様との縁、そして会社や家族の理解と協力のお陰で大変多くのことを経験し、学ばせていただきました。この一年は経験してきたことや様々な役割を務める中で感じたことを、直前理事長という立場として残るメンバーの皆様になんとか伝えていかなければならないという強い覚悟をもって務めさせていただきました。厳しいことや理不尽に感じることをお伝えした場面もありましたが今までご指導をいただきました先輩方やお支えをいただきました皆様へのご恩を返すために、恩を送るという気持ちでお伝えをさせていただきました。立場としての責任と津山青年会議所に対する気持ちが故ということでご理解をいただければ幸いです。会員数の減少やそれに伴う役職経験者の不足、またコロナ禍という想像もしなかった時間を経て、価値観が大きく変化をしている中、これからの津山青年会議所の在り方を考えていくということは私たちが想像している以上に難しくなっていくと思います。どれくらいのことをお伝え出来たかは分かりませんが、本年度を共に過ごしていく中で大変頼もしい姿や成長を感じる場面がどんどん増え、次年度以降の皆様のご活躍が楽しみで仕方ありません。青年らしい発想と行動、そして信念と友情をもって、まちの未来を築いていってほしいと思います。

また出向をいたしました岡山ブロック協議会では土倉会長のもと、新会員研修会やブロックアカデミーといった事業を担当する委員会の指導にあたりました。LOMとはまた違う部分もあり、新たな出会いと多くの気づきや学びがあり、充実した一年を過ごすことが出来ました。無事副会長としての担いを全うすることが出来たのも副会長幹事として共に出向をしてくれた上山 春洋君、齊藤 優君、山形 朋柳君のお陰であり、幹事の三名にはお支えをいただいたことへ心よりの感謝を申し上げます。

結びとなりますが本年度、そして13年間に出会い、共に過ごし、明るい豊かな津山の実現のために共に歩んだ皆様に心よりの御礼を申し上げ報告とさせていただきます。本当にありがとうございました。





副理事長
夢溢れるつやま創造会議議長
渉外グループ長

岡 孝男

本年は副理事長、夢溢れるつやま創造会議議長としての担いをいただきました。筆頭の副理事長として（一社）津山青年会議所の行うすべての事業案件に対し大きな責任を負うことに身の引き締まる想いで精一杯取り組ませていただきました。

前年には副理事長でありながら岡山ブロック協議会会員研修委員会委員長として出向をさせていただいており、委員長としての気持ちを改めて実感した後に議長として望ませていただくことで、委員長の気持ちに寄り添うことができたのではないかと考えております。事業構築に於いては各会議体の委員長キャプテンの皆様には大変ご負担をおかけしましたが、最後には理事会構成メンバーの承認をもって計画したすべての案件を審議通過させていただいたことが大変嬉しく、これ以上ない喜びとなりました。結果に対しても各担当者が真摯に向き合っていたいたおかげをもって、次年度以降につながる素晴らしい運動活動の引き継ぎが残せたことにに対し改めて厚く御礼申し上げます。

各担当者に寄り添い裏方から支援をさせていただく中で、改めて自身のＪＣライフを見つめ直すきっかけともなり、気持ちを新たに次年度へ邁進する気概となりました。皆様のご助力のお陰でなんとか無事に全うできたことに心からの感謝を申し上げます。本当にありがとうございました。





総務委員長
第60回岡山ブロック大会実行委員会 委員長
青少年未来プロジェクト キャプテン

芦田 雅嗣

本年度は総務委員長、第60回岡山ブロック大会実行委員会 委員長、青少年未来プロジェクト キャプテンの役職をお預かりしました。

まずは、1月1日に発生した令和6年能登半島地震において、被災された皆様に対しまして心よりお見舞い申し上げます。私たちは、1月3日に災害復興の支援物資として2リットル200ケース、2.4トンの水を寄付させていただきました。その後、1月26日(金)と27日(土)に募金活動を行い、2日間で、計110,227円の支援金を赤い羽根共同募金に寄付させていただきました。また、3月3日(日)には、能登半島地震で被災されている方の避難場所となっている石川県輪島市の輪島市立門前中学校にて津山ホルモンうどんを避難者へ100食の炊き出しを行いました。石川県の一刻も早い復興を心より祈念すると共に今後もできる支援を継続して続けて参りたいと思います。

7月6日に16年ぶりとなる津山J Cの主管により、第60回岡山ブロック大会が開かれました。会員が志を同じくし、会員意識と仲間意識をもち、今後の青年会議所運動を邁進していく気概を高めていくことを目的とし、岡山県内各地のJ C会員350名と多数の来賓の皆様は津山へお越しいただき、津山文化センターにて式典が執り行われました。式典後は、同会場にて岡山ブロック大会記念事業『古市憲寿記念講演』が開催され、一般の方700名以上に会場いただき、『にっぽんのこれからの生き方』と題して、ユーモアを交えながらご講演いただきました。そして、会場を津山城に移して、第12回15LOM合同懇親会が開かれ、フィナーレにはサプライズ花火を打ち上げました。

本年は、新見市の高瀬湖畔オートキャンプ場にて、子供たち30名とメンバーや関係者を含め総勢62名、2024年8月22日(木)～24日(土)の2泊3日の日程で青少年健全育成事業を行いました。人格形成の重要な要素である感謝の気持ちを育むことを目的とし、『ありがとう』『どういたしまして』をテーマに、紙すき、竹で食器作り、テント張り、ウォーキングサッカー、バーベキュー、キャンプファイヤー、湖畔クイズラリーなどを行いました。初めて親元を離れて過ごす2泊3日は、楽しさの中にも苦しさや難しさもあり、子供たちにとって良い体験になったことと思います。

本年度でラストイヤーとなりましたが、J Cで培った経験を社業や地域に還元してますます成長していきたいと思っています。1年間ありがとうございました。





専務理事
財政規則審査会議議長
広報グループ長

國米 智洋

本年度は専務理事、財政規則審査会議議長、広報グループ長の役職をお預かりしました。

専務理事としては、1年間理事長とLOMをお支えするため、内部、外部の方々と調整をさせていただきました。至らぬ点が多々あり、皆様方に多くご迷惑をおかけしましたが、支える立場でありながら、私が支えていただき何とか1年間役職を果たすことができたこと感謝申し上げます。特に外部や特別会員の皆様と多く関わりをもつ機会をいただき、津山青年会議所に対しての期待感や信頼を改めて感じる機会となりました。

また、理事長と岡山県内や各種渉外でご一緒させていただき、多くの仲間との出会いや気づきを得ることができ本当に貴重な機会となりました。このご縁をしっかりとLOMに還元して参りたいと思います。

また、財政規則審査会議や広報グループにおいても、私の力不足によりご迷惑をおかけしましたが、各委員長はじめ、グループメンバーにも恵まれて素晴らしい事業を行っていただきました。

多くの気づきをいただいた1年間、この経験をしっかりと還元し伝えて参りたいと思います。1年間本当にありがとうございました。





ひとづくり室 常任理事

藤本 裕文

本年度、ひとづくり室の常任理事を担当させていただきました。私は、2022年度に当時の森山理事長のもと、会員指導力研修委員会の常任理事委員長として所謂「ひと系」全般の事業を担わせていただきましたが、この度の松田理事長からのご指名は正にこれまでの経験を最大限に活かすことはもとより、同時に「経験者」としてのプレッシャーも強く感じていたのが正直なところでした。ひとづくり室としては、松島委員長の例会拡大委員会、山本委員長の指導力研修委員会を預らせていただきましたが、私自身も事業（新年懇親会、納涼会、望年会・卒業式）を抱えながらの一年でしたので、当初はどうなることかと不安におし潰されそうな日もありましたが、常に前向きに頑張る松島委員長、山本委員長、そしてそれぞれの委員会メンバーの姿に、何度も励まされ、一年を全うすることができました。両委員長、そして委員会の活躍は、ひとづくり室を預らせていただいている立場で初めて感じる喜びでした。それぞれの事業も改めて真正面から向き合う機会となり、入会以来最も充実した一年間であったと感じています。こうした機会を与えてくださった松田理事長をはじめ、すべてのメンバーの皆様に心から感謝を申し上げます。





まちづくり室 常任理事
まつりプロジェクト キャプテン

森岡 寛人

本年度は、まちづくり室常任理事、まつりプロジェクトキャプテン、鶴山を考える会出向と多くの成長の機会をいただきました。

まず、まちづくり室常任理事としては指導する立場の難しさを痛感した1年間でしたが、玉田委員長はじめとするまちづくり委員会メンバーが情熱をもって諦めずに取り組んだことでまちづくり事業が実施できたと感じています。9月には例会事業として、アドベンチャーツーリズムコンテストを実施しました。

そして、まつりプロジェクトでは夏の第46回津山納涼ごんごまつりで本年度企画部会長を担わせていただき、スローガンを「心が夢中になる方へ」として、分科会をおどり、花火・ステージ、PR・イベント、環境・資金の4つとし、市民総参加型のまつりに向けて邁進しました。秋の津山まつりでは、徳守神社・大隅神社の御神輿巡幸に参加させていただきました。

また、鶴山を考える会では2月の総会に始まり、4月6月に研修会が開催され、9月には津山城にて『観月と邦楽の夕べ』開催、12月の忘年会と多くの行事が開催されました。

この度、経験した学びや気づきを更なる活力としていく所存です。関係各所の皆様にご指導賜り、誠にありがとうございました。





例会拡大委員会 委員長

松島 幸一

例会拡大委員会では、月例会の企画・運営や会員開発としての事業の実施、また、会員拡大の推進などを行いました。

会員開発の事業として、元旦に実施した「迎春の会」では、理事長所信の読み上げを行い、松田理事長の想いや2024年度の方向性を共有し、「Passion for the Best」のスローガンのもと、情熱をもって自分自身が一年間で一番成長させたいことを目標として掲げ、発表しました。また、この日に新会員6名を新たな仲間として迎え、本年度のスタートを切ることができました。

毎月の例会の企画・運営では、今年度は3回の100%例会を達成することができました。これは、会員自身の意識や日程調整はもちろんですが、送り出してくださるご家族や会社の皆様のご理解があってこそだと思います。改めて皆様に感謝申し上げます。

会員拡大の実施では、後期新会員の入会はありませんでしたが、2025年度前期新会員として3名の入会につなげることができました。今年度は、特別会員の皆様にも候補者リストへのご協力やお声掛けをいただくなど、大変多くのお力添えをいただきました。

最後になりますが、委員長という大役を与えていただき、一年間支えてくださった皆様に心からの感謝と御礼を申し上げます。





指導力研修委員会 委員長

山本 右己

本年度、指導力研修委員会では松田理事長のスローガンである「Passion for the Best」をもとに新会員の指導、研修を行う委員会として運営を行ってまいりました。2024年度は6名の新会員を迎え、12月より新会員研修（導入編）をスタートさせました。新年懇親会でのアトラクション披露に向けて入会予定者段階より日々練習を積み重ね、新年懇親会当日には情熱溢れる素晴らしいアトラクションを披露していただき、感動させられました。その後、新会員研修（研修編）をスタートさせました。新会員研修会の発表に向けて同期と共に切磋琢磨し、（一社）津山青年会議所の歴史と伝統を学び、自ら探求する姿を目の当たりにしたことや新会員と指導力研修委員会メンバーの素晴らしい関係性が構築されていくことに本当に嬉しく思いました。新会員研修を担当させていただいた私たち指導力研修委員会メンバーも自身の成長につながったことと感じました。そして、11月にはこれまで学んできたことを活かし、新会員が設営する模擬事業を実施しました。新会員が苦労しながらも一生懸命設営した「燃えよ青年の会」は笑顔溢れる素晴らしい会になりました。一年間精進してきた新会員は次代の（一社）津山青年会議所を担う人財に成長し、次年度以降も誇り高きJAYCEEとして活躍してくれることを確信しました。松田理事長のもと、素晴らしい委員会メンバーを配属していただき、指導力研修委員会の委員長を務めさせていただいたことに感謝しています。そして、一年間メンバーを始め多くの皆さまのご支援・ご協力をいただいたことに心から感謝申し上げます。一年間本当にありがとうございました。





まちづくり委員会 委員長

玉田 林太郎

本年度、まちづくり委員会は例会事業と地域活性化の事業をそれぞれ1つ実施させていただきました。

まず、3月例会事業で、国際交流をテーマに【今こそ国際交流～世界との架け橋になる人財へ～】と題し、佐用日本語学校を開校し、日本と世界、地域と外国人との架け橋として尽力されているソン・ギョン Chol 氏を講師にお迎えし、講演会を開催しました。国際交流の第一歩として愛を持って互いを敬うことを学び、会員に今後つやまでも必要となってくる国際交流への関心を高めることができました。

そして、地域活性化事業では地域の魅力を学生目線で作成した動画で発信する【TSUYAMA Short Movie ～主人公はあなた～】を実施しました。合計で3日間の事業であり、津山青年会議所として初めて映像制作をする事業ということもあり、手探り状態からの事業であったため、皆様には計画から、設営、実施まで非常にご心配とご迷惑をおかけしたことは深くお詫び申し上げます。まず、事業1日目において、映像の撮影場所になるつやまの魅力の勉強会と、映像制作の基礎知識についての講演会、そして午後からは動画の台本、コンテ制作を実施しました。映像制作に関しては事業全てを通してプラス・アルファ代表の青瀬賢治氏に外部パートナーとしてお世話になりました。講演会では対象者の学生、JCメンバーも映像制作への理解を深めることができ、コンテ制作では学生やメンバーの多種多様な意見で各グループ様々な意見を出し、作成することができました。また、事業2日目には実際に現地を訪れ、魅力を体感しながら撮影を行いました。今まで住んでいながら気付かなかった魅力に触れることができた貴重な経験となりました。そして最終日には完成試写会として一般の方々にも披露させていただきました。短い制作期間でしたが、各グループ特色があり、つやまの魅力の発信を行うことができました。来場された方や、参加者からは続編を制作してほしいなどのうれしいお言葉も頂戴することができました。事業実施までサポートいただいた委員会メンバー、会議においては厳しいながらも気付きや学びを与えて下さった理事役員の方々、そして事業に参加していただいた全ての仲間へ感謝申し上げます。誠にありがとうございました。

結びに、1年間多くの方々のご支援、ご協力、ご指導をいただきメンバーの皆様と1年間走り抜けられたことを感謝申し上げます。1年間本当にありがとうございました。



出向報告

日本青年会議所 総務委員会

委員	延原 健
本年度は日本青年会議所の総務委員会に出向させていただきました。総務委員会の主な役割は会議の設営、議案の誤字等の確認です。会議の設営にはなかなか行けませんでした。議案の確認をさせていただきました。勝手に分からずなかなかうまくできませんでしたが、多くの気づきや学びを得ることができました。このような貴重な機会をいただき誠にありがとうございました。	

日本青年会議所 新J Cビル建設準備委員会

委員	山本 康太
本年度は2024年度公益社団法人日本青年会議所 総務グループ 新J Cビル建設準備委員会に委員として出向させていただきました。日本全国の志同じうする同志と出会い、式典のような委員会や懇親会を設営し、新J Cビル建設という桁違いな事業規模の一端を担うことができました。そして、日本各地のLOMのメンバーと多くのつながりを得ることができ大変素晴らしい経験をさせていただきました。最後になりましたが、このような経験をさせていただきました松田理事長、小笠原直前理事長、本当にありがとうございました。	
	

委員	豊福 祥旗
本年度は一般社団法人玉野青年会議所 堀 徳成委員長率いる公益社団法人日本青年会議所経済グループサマーコンファレンス特別委員会に出向させていただきました。卒業年度で出向させていただき、最終年度で多くの出会いと気づきをいただきました。サマーコンファレンスに向けての会議などを重ねる中で、改めてJ Cのスケールの大きさと、動かす人と金額の大きさ、そしてそれを運営する上での会への向き合い方を改めて体感できました。特に廣瀬V Cはじめとする甲府J Cの皆様には大変お世話になりました。 日本青年会議所へは2度出向させていただきましたが、いずれも地元での運動活動では味わえることのできない経験ができます。津山J Cでの活動があつての日本J Cですが、先輩が築いてこられた信頼や軌跡があつたからこそ、日本J Cへの出向のお話もありますので、ぜひお声がかかった際には日本に飛び込んでいただきたいと思います。 最後になりますが、出向をさせていただきましたL O Mのメンバーには大変感謝しております。一年間ありがとうございました。	
	

委員	森本 莉彩
本年度は玉野青年会議所とのご縁で堀委員長率いる公益社団法人日本青年会議所経済グループサマーコンファレンス特別委員会に出向させていただきました。第3小委員会の委員として配属させていただき、オープニング、クロージングを担当しました。日本青年会議所のスケールメリットを実感しつつ、実践的な学びの機会へとつながりましたし、新たな刺激となりました。初めての日本出向で不安がありましたが、2日間に渡る事業で濃い時間を過ごし、素敵な仲間に出会えたこと嬉しく思っています。1年間出向の機会をいただきましてありがとうございました。貴重な経験を活かし、今後も邁進してまいります。	
	

副会長幹事

上山 春洋

本年度、小笠原副会長の副会長幹事として岡山ブロック協議会へ参加させていただきました。出向させていただいたことにより、小笠原副会長を支えつつ、何よりも他LOMの皆様と出会える機会が多いことで、視野を広げられ自分の成長にも大きな影響がありました。次年度以降もこの経験を活かし運動、活動に邁進してまいります。このような機会をいただき感謝申し上げます。そして小笠原副会長本当にありがとうございました。



副会長幹事

山形 朋椰

本年度は、副会長幹事として、岡山ブロック協議会 理念共感拡大グランドデザイン推進委員会に出向させていただきました。初めての出向でしたが、小笠原副会長のもと、多くの学びや気づき、また沢山の他LOMの方と知り合うことができました。今回の出向で小笠原副会長に教えていただいたことを次の世代にしっかりと繋いでいけるように引き続き精進して参ります。このような貴重な経験をさせていただきありがとうございました。



副会長幹事

齊藤 優

2024年度は岡山ブロック協議会に副会長幹事として出向させていただきました。ありがとうございます。土倉会長を始め多くの役員や幹事の方々と交流が図れ、学びの多い1年となりました。特に理念共感拡大グランドデザイン推進委員会が計画した、新会員研修会では、普段は違うLOMのメンバーが、能動的に自身の役割をこなし、綿密に情報共有をしながら、事業が進行している様子を拝見し、一体感と一人ひとりが団結した時の相乗効果を感じさせていただきました。大変ありがとうございました。



岡山ブロック協議会 共感を生み出すブランディング会議

議員

光井 聡

本年度、岡山ブロック協議会共感を生み出すブランディング会議に出向の機会をいただきました。当会議では、60周年記念誌の作成、会員拡大・LOM支援事業、合同引継式・卒業式などを主な担いとしておりました。会員拡大についての講演会では、私自身にとって一般社団法人津山青年会議所会員としてできることを考え、行動していくための貴重な学びの機会となりました。

岡山ブロック協議会に出向の機会をいただきましたこと、あらためて深く感謝申し上げます。



委員	前田 哲弥
小笠原副会長が担当された当委員会では岡山ブロックの新会員研修会や在籍期間が短いメンバー向け、また理事役員候補者向けの会員それぞれの境遇に合わせたセミナーを行うブロックアカデミーの実施設営をしました。私自身この度初めてのブロック出向でしたが津山以外のLOMメンバーと協力してひとつの事業を実施するといふところに、場所は違えど目的を同じくする方々との交流を通して気づきや学びが得られたとともに津山青年会議所の歴史、伝統の素晴らしさがあらためて感じられた機会となりました。 	

議員	入木 圭
本年度、岡山ブロック協議会郷土愛あふれる岡山創造委員会に出向させていただきました。渋谷委員長をはじめ、委員会メンバーの皆がとても気さくで本当に楽しく事業に取り組むことができました。地域の魅力度調査を行うおかやま推しスポット調査を実施でき、ボード制作や景品の発送作業などの準備作業も委員会メンバーで楽しく作業することができ、貴重で大切な思い出を創ることができました。次年度もこの経験をいかして、JC運動・活動に邁進していきたいと思っています。 	

委員	小松原 綾乃
本年度、岡山ブロック協議会では、想い合う心あふれる人財育成委員会に出向させていただきました。事業としては、青少年事業であるＪＣカップと国際交流事業である未来サミットを行いました。これらの事業を経て、ひとはひとによって磨かれ、成長していくことを学ばせていただきました。なかなか、LOMのことに重なり、委員会への参加がかなうことが少なかったのですが、事業で他LOMの方々と仲良くさせてもらい、成長への意欲をさらにもらったと思います。次年度に活かせるよう邁進していきます。出向させていただき、本当にありがとうございました。	



全国城下町青年会議所連絡協議会

理事	上山 春洋
全国城下町青年会議所連絡協議会に理事として出向させていただきました。本年は愛知県犬山市で「第４３回全国城下町シンポジウム犬山大会」が開催されました。大会を通じ全国のＪＣメンバーと関わり、大変良い経験をさせていただくとともに全城連の「家族のような存在」と言われていた通り、優しく時に厳しく学びを得ることができました。全城連に出向させていただきまして本当にありがとうございました。	



貸 借 対 照 表

2024年12月31日現在

(単位：円)

科 目 名	金 額
I 資産の部	
1. 流動資産	
現金預金	8,152,049
現金	0
当座預金	0
普通預金	8,152,049
中国銀行津山支店 口座番号1281389	5,947,493
津山信用金庫本店 口座番号0659314	977,690
鳥取銀行津山支店 口座番号0345097	655,015
津山信用金庫本店 口座番号0700236	1,658
津山信用金庫本店 口座番号0721084	185,825
津山信用金庫本店 口座番号0700642	342,368
津山信用金庫本店 口座番号0700985	42,000
定期預金	0
立替金	437,000
前払費用	58,532
貯蔵品	10,200
流動資産合計	8,657,781
2. 固定資産	
その他の固定資産	117,500
出資金	117,500
固定資産合計	117,500
資産合計	8,775,281
II 負債の部	
1. 流動負債	
未払金	33,000
預り金	4,800
源泉税預り金	0
その他預り金	4,800
前受金	154,000
流動負債合計	191,800
2. 固定負債	
固定負債合計	0
負債合計	191,800
III 正味財産の部	
一般正味財産	8,583,481
指定正味財産	0
正味財産合計	8,583,481
負債および正味財産合計	8,775,281

正味財産増減計算書

2024年1月1日から 2024年12月31日まで

(単位：円)

科目名	金額	備考
I 一般正味財産増減の部		
1. 経常増減の部		
(1) 経常収益		
受取入会金	100,000	
受取入会金	100,000	50,000×2名、1名未収
受取会費	5,700,000	
正会員受取会費	5,625,000	150,000×37名、75,000×1名
特別会員受取会費	75,000	75,000×1名
賛助会員受取会費	0	
事業収益	7,635,620	
登録料収益	6,077,420	新年懇親会、望年会、青少年事業、ブロック大会懇親会他
協賛金収入	1,089,100	ブロック大会記念事業協賛金
雑収入	469,100	ブロック大会記念事業 チケット販売分
受取補助金等	0	
受取国庫補助金	0	
受取地方公共団体補助金	0	
受取民間補助金	0	
受取負担金	0	
受取負担金	0	
受取寄附金	179,760	
受取寄附金	179,760	JCボックス他
雑収益	555,611	
受取利息	908	
その他雑収入	554,703	OB会事務委託費、JCカード還元、SDGs/バッジ販売等
経常収益計	14,170,991	
(2) 経常費用		
事業費	9,559,960	
総務委員会	64,342	
ひとづくり室	2,666,615	
青少年未来プロジェクト	1,535,828	
例会拡大委員会	271,359	
指導力研修委員会	94,645	
まちづくり委員会	311,662	
ブロック大会 記念事業	1,665,919	
ブロック大会 大懇親会	2,949,590	
管理費	4,540,887	
会議費	537,530	理事会、次年度理事会、例会、各種会議体会議費、例会活動費
役員報酬	0	
給料手当	1,029,625	増尾
退職給付費用	0	
法定福利費	10,897	雇用保険料
旅費交通費	0	
通信・発送費	196,719	電話代金等
消耗品費支出	280,837	事務用品費他
リース料支出	130,680	コピー機リース料
印刷製本費支出	894,700	会員手帳、あした
光熱水料費支出	102,330	電気代(12ヶ月)
賃貸料支出	463,200	事務局・ルームの家賃、商工会館公益費、JC倉庫の賃貸料
業務委託費支出	292,289	会計アドバイス料・HP製作費・サーバーレンタル料・ドメイン更新料金
インフォメーション関係費支出	11,000	津山朝日新聞社
渉外費支出	331,900	中学校野球大会補助、祝儀、慶弔費他
雑支出	259,180	

負担金支出	716,879	
ＪＣＩ負担金支出	87,204	2,236 × 39名
日本ＪＣ負担金支出	225,000	会費30,000 付加金5,000 × 39名
地区協議会負担金支出	39,000	1,000 × 39名
ブロック協議会負担金支出	97,500	2,500 × 39名
国際協力資金支出	71,175	1,825 × 39名
日本ＪＣ出向者負担金支出	80,000	20,000 × 4名
We Believe購読料支出	117,000	3,000 × 39名
経常費用計	14,817,726	
評価損益等調整前当期経常増減額	0	
基本財産評価損益等	0	
特定資産評価損益等	0	
投資有価証券評価損益等	0	
評価損益等計	0	
当期経常増減額	▲ 646,735	
2. 経常外増減の部	0	
(1) 経常外増減の部	0	
経常外収益計	0	
(2) 経常外費用	0	
経常外費用計	0	
当期経常外増減額	0	
当期一般正味財産増減額	▲ 646,735	
一般正味財産期首残高	9,230,216	
一般正味財産期末残高	8,583,481	
II 指定正味財産増減の部		
当期指定正味財産増減額	0	
指定正味財産期首残高	0	
指定正味財産期末残高	0	
III 正味財産期末残高	8,583,481	

財 産 目 録

2024年12月31日現在

(単位：円)

科 目 名	金 額
I 資産の部	
1. 流動資産	
現金預金	8,152,049
現金 現金手許有高	0
普通預金	8,152,049
中国銀行津山支店 口座番号1281389	5,947,493
津山信用金庫本店 口座番号0659314	977,690
鳥取銀行津山支店 口座番号0345097	655,015
津山信用金庫本店 口座番号0700236	1,658
津山信用金庫本店 口座番号0721084	185,825
津山信用金庫本店 口座番号0700642	342,368
津山信用金庫本店 口座番号0700985	42,000
立替金 清算未済分	437,000
前払費用 次年度会議費他	58,532
貯蔵品 JCバッジ他	10,200
流動資産合計	8,657,781
2. 固定資産	
その他の固定資産	117,500
出資金 津山森林組合出資金 2 3 5 口	117,500
固定資産合計	117,500
資産合計	8,775,281
II 負債の部	
1. 流動負債	
未払金 会計事務所	33,000
預り金 新会員ネームプレート代他	4,800
前受金 新会員次年度会費4名分	154,000
流動負債合計	191,800
2. 固定負債	
固定負債合計	0
負債合計	191,800
III 正味財産の部	
一般正味財産	8,583,481
指定正味財産	0
正味財産合計	8,583,481
負債及び正味財産合計	8,775,281

財 務 諸 表 に 対 す る 注 記

1. 継続事業の前提に関する注記

継続事業の前提に重要な疑義を抱かせる事象又は状況はない。

2. 重要な会計方針

(1) 消費税等の会計処理

消費税等の会計処理は、税込方式によっている。

3. 会計方針の変更

該当なし。

監査報告書

一般社団法人津山青年会議所

2024 年度理事長

松田 和也 殿

2025 年 1 月 18 日

一般社団法人津山青年会議所

監 事 豊福 祥旗

外部監事 眞木 祐治



私たちは、2024 年 1 月 1 日から 2024 年 12 月 31 日までの会計年度における会計及び業務監査を行い、次の通り報告する。

1 監査方法の概要

(1) 会計監査について

帳簿並びに関係書類の閲覧など必要と思われる監査手続きを用いて、計算書類の正確性を検討した。

(2) 業務監査について

理事会及びその他の会議に出席し、理事から業務の報告を聴取し関係書類の閲覧など必要と思われる監査手続きを用いて、業務執行の妥当性を検討した。

1 監査報告

- (1) 貸借対照表・収支計算書・正味財産増減計算書及び財産目録は、会計帳簿の金額と一致し、法人の収支状況及び、財産状態を正しく表示しているものと認められる。
- (2) 事業報告書の内容は真実であると認められる。
- (3) 理事の職務執行に関する不正行為又は法令もしくは定款に違反する重大な事項はないと認める。

2 0 2 5 年度

事 業 計 画
一 般 会 計 予 算



一般社団法人 津山青年会議所
第68代理事長 岡 孝 男

〈 理 事 長 所 信 〉

「規矩作法 守り尽くして破るとも 離るとても本を忘るな」

千利休

ひとを動かすのは理屈ではなく、時代認識や高い視座、哲学や価値観、そして勇気である。自分自身の美意識や価値観をもつためには「型」を知ることから始まる相応の学びや努力が必要であり、「型」に「精神」を伴わせることで「品格」と「美しさ」が生まれる。そして自分で考え工夫しながら良いものを取り入れ、発展させながら自分自身の生き様を確立させていくことが、この学び舎で体得すべきことではないか。しかし、技術は人から教わるができるが、心は自ら鍛えるしかない。言っていることではなく、やっていることがその人の正体なのである。

昨今のソーシャルメディアの浸透により社会はその透明性を一気に高め、言行の不一致は全ての企業、団体にとって大きなリスクとなっている。不誠実な瞬間は簡単に切り取られ、瞬く間に拡散し伝播していく。掲げたビジョンやパーパスは社会との約束である。我々の言動と行動には大きな責任が伴うことを自覚し、そして約束以上の行動を起こそう。広告よりもモノを言うもの、それは「行動」である。求められる行動は時代によって変化していくだろう。自分が正しいと思ったことと真逆の考え方の人と衝突することもあるだろう。誰もが自分の理想を追い求めていく中で、今は絵空事と思われるようなことが当たり前になっている未来があるかも知れない。自分はそうはなれないかも知れないけれど、その未来を創るのは今を懸命に生きる我々でありたい。だから歩みを止めず進み続けよう。耐え難い現実と向き合い、少しずつでも自分自身から変えていこう。完璧でなくて良い、青年らしい誠実さと謙虚さと潔さを持ち、心を鍛え続けよう。

【時代の変遷】

当然のことながら、世界の姿は一定ではありません。群れとなって狩りをして実った植物を食べていた人類の生活は「農業革命」によって大きく変わり、18世紀半ばにはじまった工業とエネルギーのイノベーション「産業革命」による技術革新は「農耕社会」から「工業社会」へとシフトさせました。大量生産、大量販売、マスメディア、大衆娯楽など、人々に一斉に影響を与えるチカラが生まれ、組織の

スタイルもトップが全体をコントロールする形態が主流となりました。そんな世界をさらに一変させたのが、20世紀半ばに誕生したコンピュータによる「情報革命」です。コンピュータ誕生時からの性能は現在では数兆倍ともいわれ、時代の進化はさらに加速し、「工業社会」は「知識社会」へとシフトします。いま私たちは「インターネットがない世界」を想像することは難しいでしょう。既得権益の世界だったビジネスにおいても、これまでの常識が覆され、店舗やノウハウがなくても起業できる新しい市場が創出されたのです。しかしこの劇的な構造変化に人々の思考が追いつかず、社会的な歪みを生み出すことにもつながっていきます。そんな中、2008年9月15日、米国の投資銀行のリーマン・ブラザーズが破綻し、負債総額は約64兆円にのぼりました。この史上最大の倒産劇の背景には、「金はないが家がほしい」、「買い手を騙しても儲けたい」、「何よりも利益がほしい」という果てない欲望があり、金融派生商品であるサブプライム・ローンが生まれ、世界の金融機関にリスクが飛び火し、猛烈なバブルが生まれ、そして弾けたのです。リーマン・ショックの直後、2009年1月30日から開催されたダボス会議では、金融緩和を選択し、これを機に実体経済と通貨供給量が乖離しはじめ、お金の価値が低下していきました。資金調達が容易になったことで、ビジネスにおける競争力の源泉は「財務資本」から「人的資本」にシフトしたのです。時を同じくして登場したソーシャルメディアが、コミュニティ崩壊が進む社会に、新しい人とのつながりをもたらしました。この新しいプラットフォームが登場したことで、人々は常に対話し、連帯し、行動するようになり、民衆が力を得、新しい価値観が創造され始めました。「持続できる社会、持続できる事業を目指すべきだ」「事業運営は誠実であるべきだ」「組織運営は人間性を重んじるべきだ」。そんな共通善が形成され、共感をまとって広がっています。同時に、フェイクニュースによって社会が動揺すること、根拠のない誹謗中傷や名誉毀損、ネットいじめや中毒性などの負の側面も見逃すことは出来ません。「リーマン・ショック」という危機と「ソーシャルメディア」というイノベーションは世界的な変革の起点となり、「ソーシャルシフト」という新たな波を起こしました。その主役はスマートフォンとともに成長し、新たな価値観を当たり前のものであるとして、つながりや多様性を重視するソーシャルネイティブと言われる若者たちです。2020年3月11日、WHO（世界保健機関）は、新型コロナウイルスのパンデミックを宣言し、4月7日には日本でも「緊急事態宣言」が発令されました。国連事務総長をして「第2次世界大戦以来、最大の試練」と言わしめ、世界恐慌以来の最悪のマイナス成長を招きました。社会人の7割が在宅勤務を経験したと言われ、リアルな交流が激減する中で、WEB会議サービスの浸透をはじめとするデジタル化のハードルをコロナショックが半ば強制的に推し進めていくことになりました。テキストメッセージでは届かない非言語情報の大切さを誰もが認識し、働き方を超え、「生き方」を深く考えるようになりました。職場と家庭の境界があいまいになったことも大きく、「なんのために仕事をしているのだろう」「この組織はなんのために存在しているのだろう」と、これまで深く考えたこともない本質的な疑問に向き合うことで、「密」な関係性が強みであった私たちは青年会議所の在り方をも問われることになりました。日々刻々と変わる状況の中で、今まで正解とされていた価値観が容易くひっくり返り、そしてその流れはますます加速していくでしょう。

サン＝テグジュペリの名作「星の王子さま」の中で、キツネが教えてくれる「秘密」は、私たちに深い示唆を与えてくれます。

「ものごとはね、心で見なくてはよく見えない。いちばんたいせつなことは、目に見えないんだ。」

機械やロボットは人の手足を代替して「工業社会」を支え、コンピュータは、人の記憶や計算能力を代替して「知識社会」に導きました。今、人間に残された価値は「感性」であり「意志」ではないでしょうか。これらを数値化することはとても難しく、正解がないことが私たちを迷わせ、時に足を止めようとしてしまいます。しかしこの「見えないもの」を深く理解できないと、人の心は動かないし、組織は

機能しないのです。

今こそ、我々の運動は人間性に回帰すべきなのではないでしょうか。

【VUCAの時代に必要とされるもの】

時代性という観点に置いて、変化が比較的緩やかだった頃とは大きく異なり、先の予測が立たないVUCA (Volatility (変動性)、Uncertainty (不確実性)、Complexity (複雑性)、Ambiguity (曖昧性)) と呼ばれる現代を生きる私たちは、今までの経験からは想像することも難しい様々な課題に日々直面しています。新型コロナウイルスといった新型感染症や、大雪、台風、地震などの激甚化する災害、「沸騰化」と呼ばれるまでになった酷暑、そして生成AI技術の急激な進化によりもたらされた新たな社会においてはディープフェイクや権利侵害などの新たな検討材料が生み出されました。これらの変化は今までにないビジネス環境を目まぐるしく生み出し、それらに対応するためには組織全体の柔軟性や多様性がより求められています。答えはAIが教えてくれるようになっていく世の中においては、課題を見つけ出しチャンスと捉え結果につなげる力が求められるでしょう。

私たちが住むこのまちは人口、産業別就労者数ともに1995年をピークに減少傾向に転じています。社会増減の推移を見ても2017年以降は減少傾向にあり、その内訳は県外への転出が多くなっている一方で、世帯数は緩やかに増加しており、特に65歳以上一人暮らし世帯は1985年の約3倍にもなります。人口減少、少子高齢化、人口密度の低下は地域コミュニティの衰退、空き家問題、行政コストの増加、それに伴うサービスの低下を招き、関連して歴史的街並みが喪失されることになれば、まちの魅力が損なわれ、若者の流出が進むという負の連鎖が加速する恐れがあります。私たちが生まれ育ったこのまちを取り巻く環境は決して楽観視できることばかりではありませんが、愛情をもってまちと向き合い課題に取り組もうとしたとき、これまでの先人たちがどのような想いで我々に託してくださっていたのかを気づくこととなりました。

かつて、戦後の焼け野原に立った青年たちは日本再建の使命に燃え、日本青年会議所は設立されました。彼らの運動は日本各地に伝播し、このまちにおいても志高き青年たちの手によって津山青年会議所が誕生しました。1958年に生まれ、68年の歩みは戦後の復興を成し遂げ、その後のあらゆる時代のうねりの中で存在価値を示してきました。時に手段が目的化し、本質を見失いそうになる昨今、高度で複雑化した問題と向き合い自問自答する日々を送る我々こそが、青年の学び舎としての価値を見直し、津山青年会議所の在り方を見つめ直しましょう。

【本質を捉え逞しく生まれ変わろう】

諸君は、自分の分が、十あるのに四くらいしか知らない。

そして、四くらいしか使えない能力でもって、十のものを持ち上げようとするからいけない。

中村 天風

この言葉から得られる教訓は、「自分を小さく見積もるな」ということです。一紀元前の昔の、孔子の弟子のひとりが、こんな弱音を吐きました。「先生が説かれる道は素晴らしいのですが、私には力がなくてついていけません」これを聞いた孔子は、厳しい口調で「今、おまえは、自分に見切りをつけてしまった（今女は画れり）」と指摘したそうです。原文は、「今女画」となります。この三文字がいかにも多くのことを語るのか考えてみましょう。“女”は“汝”と同じ、“画”は「区切る」という意味です。区切りなど現実にはどこにもないのに、その弟子の意識のなかで、「自分はここまでしかできない」と区切って、ただ単に自分自身に見切りをつけただけの話ではないでしょうか。

また陸上競技において、日本人選手が100m走で10秒を切れない「10秒の壁」というものが長年ありました。1998年に10秒00が出て、そこから19年も経って、ようやく日本人初の9秒台が出ました。すると、次々と何人も9秒台が続きました。これは、日本人には無理とされていた9秒台が可能なんだ、という意識の変革があったからだと言われています。言い換えると、「できない」と信じ込んでいた「暗示が解けた」ということです。

津山青年会議所には受け継がれてきた伝統、重んじるべき型、継承すべき文化があり、「ひとづくり」の精神は我々の魂に深く根付いています。先輩諸兄が築きあげてきたこの魂はいつの時代にも普遍であり人生の本質を突いた教典として代えがたいものであります。しかしながらそれ故に、本質を理解せぬまま形骸化し、形だけをなぞってしまっている思考停止状態にはないでしょうか。もしくは勝手に「JCはこういうもの」と自分で可能性に蓋をしてはいないでしょうか。可能性を自ら狭めていくことなく、時代に向き合い次世代のリーダーを育成してきた、その精神をこそ受け継ぎ、新しい時代に求められるリーダー像を共に考え続けましょう。そしてものごとの本質を捉え、自身の限界を突破する逞しさをもったJAYCEEとなりましょう。

【志高く郷土愛をもったまちづくり】

私たちが生まれ育ったこのまちは古代より、岡山県北美作地方の拠点として、政治・経済・文化の中心的な役割を担ってきました。城下町として発展し、現在も津山城を中心に在りし日の面影を残しており、津山城や衆樂園、複数の伝統的建造物群保存地区や旧津山扇形機関車庫や転車台など、歴史と文化を感じる観光資源を有しています。ランドマークである津山城は、1873年の廃城令により取り壊しが決定され、石垣を残してすべての建物が解体、撤去に至ります。他の地域で現存している天守にはそれぞれ奇跡的なドラマがあり、その影には共通して、全国の城が一斉に壊される中で城を守るために動いた「ひと」がいたのです。

日本の城が建築的・美術的に価値あるものだとして建白書を提出し、これが認められることにより永久保存が決定し修理されたのが姫路城や名古屋城です。松本城は民権運動家が有志から資金を集めて落札主から天守を借り受け、さらに県の協力も取り付けて天守で博覧会を開催しました。そしてその収益で天守を買い戻し、取り壊しを回避したのです。その他にも昭和まで放置された城を修復するため、学生や子どもたちも協力して地元のひとたちが山上まで瓦を運んだという備中松山城など、そこに在り続けている現存天守にはそれぞれのまちの「ひと」がその存命に懸けていたのではないのでしょうか。現在の津山城では天守こそありませんが春には桜が咲き乱れ、秋は紅葉が見る人を喜ばせ、雄大な石垣はそこに在り続けています。それは間違いなくわがまちの魅力であり、その魅力もまた、ひとによってもたらされたのです。私たちにはこの地域をより良く発展させる責任があります。「誰か」が変えてくれるのを待つのではなく、この時代にこの地域に生きる私たちが運動を起こし、より良い未来につながる変革の当事者となりましょう。

【心優しく魅力あふれる生きる力】

アメリカ企業のオープンAIが開発した「チャットGPT」のような生成AIが誕生し、人間の仕事が奪われるのではないかとという恐怖を抱く人が増えています。そしてこの変化は恐らく不可逆的で、AIのない世界に戻ることはないでしょう。そのような社会において現状に固執し、変化に対応できない人は未来では必要とされない存在になってしまうと考えられます。仕事なくなる人がいる一方、新しい仕事も出てくると思います。しかし難しいのは、どんな仕事が生み出されるかわからないという点であり、未来を予測することで変化に対する心構えや準備をすることが大切です。人間が生きていくうえで必要不可欠な食糧や健康などの分野で新しい仕事が増えていくのは間違いのないでしょう。そして必要とされる仕事が生み出されるのは「誰かの困り事を解決する」という意義や目的を常に考え続ける

ことが大切であり、それは親切心や好奇心など、生成AIにはない「人間力」に基づくのではないのでしょうか。

学校制度に関しても万能ではなく、自治体ごとの教育格差や教員不足、少人数指導や、総合的な学習の時間でのディスカッションなどが増えていくとなると、今のままの教員の人数では足りなくなる恐れがあります。そして、様々な性格や能力、家庭環境などの背景が異なる子どもたちが学校に集まり集団で均等な教育を受ける現行制度では、大きく突出した才能を発揮する人材が生み出されにくいという側面もあります。その一方でコミュニケーション能力を育む大切な場であり、行事やクラブ活動の中で社会性を学び、そしてなによりも子どもたちは「遊び」を通して人間力を学びます。異なる年齢の友達同士で遊んでいると、「小さな子も楽しめるように手加減をしてあげる」など、自然と「年齢の違う人たちに目配りをしながら、どう統率していくのか」というリーダーシップを身につけはじめる子が出てくることがあります。また時には恋愛をして幸せな気持ちになったり不安になったりする経験も、人として未来を考える際に欠かすことの出来ない貴重な経験です。そうした経験が将来にわたって必要な「生きる力」の土台となり、豊かな人間性を育むことこそが、人が人として生きていくためにもっとも求められていくと思うのです。「目には見えないいちばん大切なもの」を見つけるために、未来へ種を撒き続けましょう。

【ポジティブな変革をもたらす組織づくり】

いま「青年」と呼ばれる我々の世代は、古い価値観の残る日本社会、たとえば年功序列や終身雇用、体育会系の組織や、激しい飲み会や全員で社員旅行をするといった日本企業特有の文化も知っています。その一方で、Z世代と呼ばれる若い人たちの価値観や、数年であっさりと転職するといった割り切った考え方もある程度理解ができます。社会が変化する過渡期の狭間の世代として、どちらの世代とも手をつなぎながら前に進んでいくことが必要となるでしょう。ジェンダー平等、多様性を尊重することが標準となりつつある社会において、働き方の場所や時間の壁は徐々になくなりつつあります。単に女性社員や女性会員の問題として捉えるのではなく、男性、女性それぞれの違いや多様性の豊かさを求めていく我が組織こそが、率先して誰もが生き生きと活躍できる組織へと変わることが何よりの説得力を生み出すと考えます。そしてまずメンバー相互の「関係の質」を高めるために、率直に話し合う場をつくり真の信頼関係を築くことが不可欠です。さらにその場において「思考の質」を高め、前向きな気持ちとアイデアを生み出す土壌をつくりだし、それらが「行動の質」を高め、ひとりひとりが自律的に行動し、困難をともに乗り越える好循環を作り出すイノベーションを起こすことが、組織のパフォーマンスを高め、インパクトを生み出すことにつながると信じています。

「スタースレーヤーは過大評価され、ロールプレーヤー(補助的な役割の選手)は過小評価されている」という一例に、NBA史上2番目に長い27連勝を達成し、2年連続優勝を成し遂げたマイアミ・ヒートのシェーン・バティエという選手があげられます。当時ヒートのスーパースター、レブロン・ジェームズはバティエによく意見を求め、重要な試合ではファンから彼の出場を求めるコールが巻き起こりました。バティエはいわゆるスーパースターではなく、彼の成績の「数字(スタッツ)」は至って普通でしたが、彼が出場した試合では各選手のシュート成功率や得点率が上がり、相手のスター選手の得点率が明らかに低くなっていたのです。貢献は自身の数字に表れるとは限らず、チームが最高のパフォーマンスを発揮するためにはこのように光の当たらないところでも全体のために貢献するクレバーな選手が欠かせないのです。当たり前のことを当たり前に、「事なきを得る」ために、それぞれの責任者やフォロワーメンバーすべてがポジティブな気持ちで責任と役割を全うし、見えないファインプレーでチームに貢献する「ノースタッツオールスター(数字には現れないスター選手)」を目指しましょう。

【むすびに】

「星の王子さま」の著者、サン＝テグジュペリの残した名言がある。

「船を造りたかったら、人に木を集めてくるように促したり、作業や任務を割り振ったりはせず、はてしなく続く広大な海を慕うことを教えよ」

もし、あなたが「船をつくるミッション」を与えられたリーダーだったら、何をメンバーに伝えるだろうか。作業や任務を考え、それを割り振ることだろうか。それとも、目の前でキラキラと輝く海の雄大さを熱く語るだろうか。

周囲の人の心を踊らせ、感激させ、行動に駆り立てる。偉大な能力をもつリーダーがいる。彼らは個性が強く、類型化することはできないが、共通点がひとつある。彼らは決まって、行動を促す前にその行動の意味を説き、そして誰よりも自分自身がワクワクしているのだ。

自分自身に問いかけてみてほしい。

あなたはなぜ青年会議所の門を叩いたのか。

なぜこの運動がこのまちに必要なのか。

誰に何を残せるのか。

どこにでもあるものを特別な何かに変えるのは、「誰」なのか。

どう在りたいのか。

地球の一番南の点である南極点に初めて到達した探検家のアムンゼンの名言で、「準備10年、成功5分」というものがある。短い時間の成功に見えることでも、その準備には膨大な時間と労力がかかっているという意味だろう。

人の一生を冒険に例えると、私たちはまだ出発もしていない準備期間だと言えるのではないか。成功にたどり着くまでの長い道のりを、好奇心をもって楽しみながら進むことができれば、どんなゴールが待っていたとしても幸せだと感じられるだろう。

ものごとすべてには始まりがあり、終わりがある。だからこそ、その終わりを美しいものにしよう。

〈 スローガン 〉

守 破 離

基本方針

1. 本質を捉える目と逞しく成し遂げる実行力を育てるひとづくり
2. 志高く郷土愛をもったひとへと共感を広げるまちづくり
3. 心優しく魅力あふれる、人間らしく生きる力を育む青少年健全育成
4. 変革を恐れず、誰もが生き生きと活躍できる組織づくり

2025年度基本計画

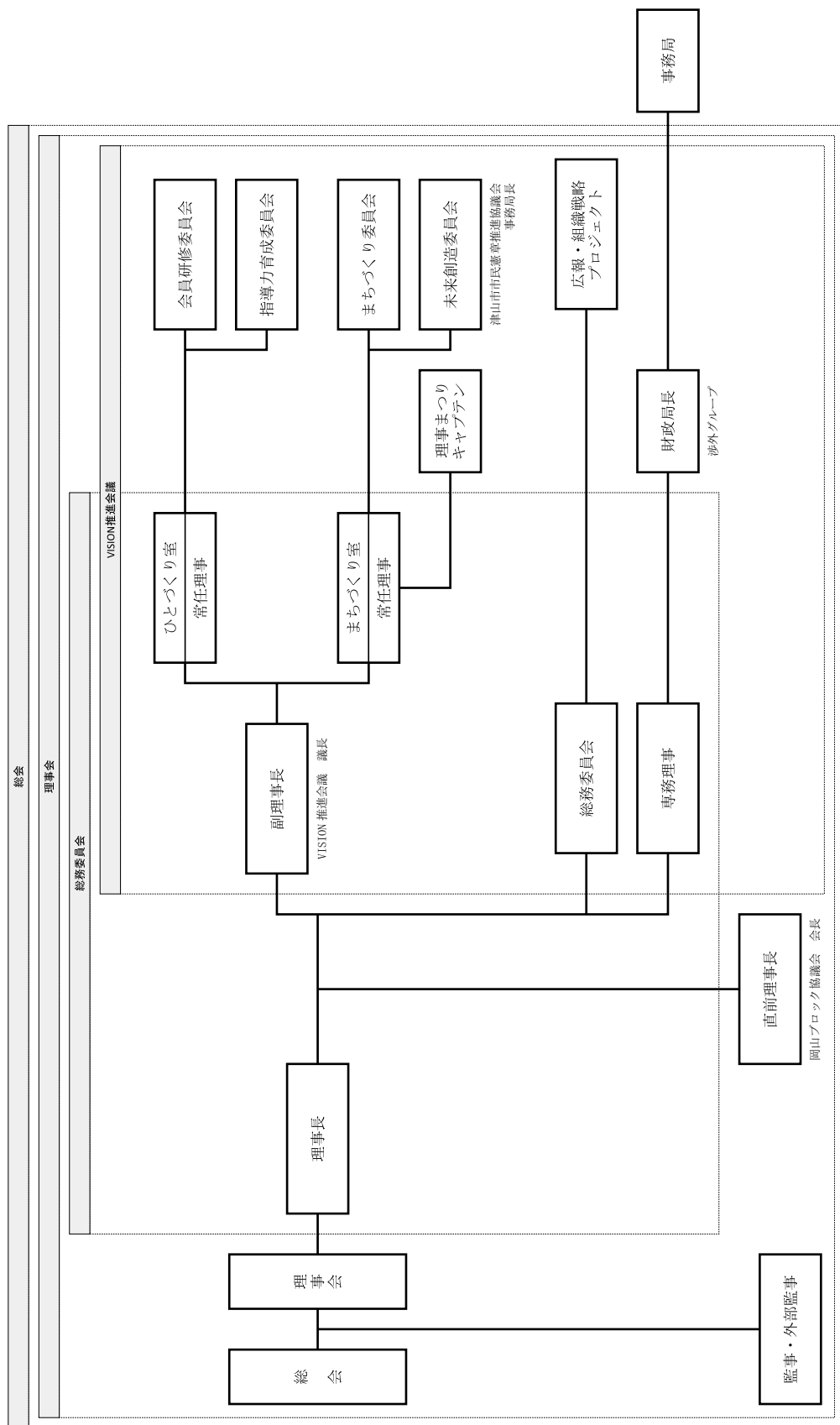
事業計画

1. 新年懇親会
2. 納涼会
3. あした号外の発刊
4. 望年会・卒業式
5. 新会員研修（前期・後期）
6. 防災・減災に関する事業

2025年度 一般社団法人 津山青年会議所 理事・役員名簿

理 事 長	岡 孝男	
直 前 理 事 長	松田 和也	(岡山ブロック協議会 会長)
副 理 事 長	國米 智洋	(VISION 推進会議 議長)
総 務 委 員 会 委 員 長	河本 啓彰	(広報・組織戦略プロジェクト)
専 務 理 事	藤本 裕文	
ひとつくり室 常任理事	玉田林太郎	(岡山ブロック協議会 運営専務)
まちづくり室 常任理事	松島 幸一	(鶴山を考える会)
理 事 ま つ り キ ャ プ テ ン	上山 春洋	(岡山ブロック協議会 JCブランディング会議 議長)
財 政 局 長	山本 康太	(渉外グループ長)
会 員 研 修 委 員 会 委 員 長	齊藤 優	
指 導 力 育 成 委 員 会 委 員 長	神崎 大輔	
ま ち づ く り 委 員 会 委 員 長	光井 聡	
未 来 創 造 委 員 会 委 員 長	小松原綾乃	(津山市市民憲章推進協議会 事務局長)
監 事	森岡 寛人	(岡山ブロック協議会 事務局長)
外 部 監 事	豊福 祥旗	

一般社団法人 津山青年会議所 2025年度 組織図



理事 13名
役員 2名

2025年度 一般社団法人 津山青年会議所 所属表

理事長 岡 孝男	直前理事長 松田 和也	副理事長 國米 智洋	専務理事 藤本 裕文	監事 森岡 寛人	外部監事 豊福 祥旗
総務委員会	委員長 河本 啓彰	副委員長 岡 孝男	委員 國米 智洋、藤本 裕文、玉田 林太郎、松島 幸一		
ひとづくり室 常任理事 玉田 林太郎	会員研修委員会	委員長 齊藤 優	副委員長 山形 朋椰	幹事 田中 陽祐	委員 延原 健、朝比奈 京平、梶並 敬典
	指導力育成委員会	委員長 神崎 大輔	副委員長 入木 圭	幹事 小椋 一樹	委員 前田 哲弥、末永 亮
まちづくり室 常任理事 松島 幸一	まちづくり委員会	委員長 光井 聡	副委員長 宮永 卓	幹事 山本 祐輔	委員 植月 優、永禮 達大、八木 海雄士
	未来創造委員会	委員長 小松原 綾乃	副委員長 西村 絵理	幹事 齋藤 雄太	委員 森本 莉彩、日笠 七菜子、高橋 良典
理事まつりキャブデン 上山 春洋			財政局長 山本 康太		
VISION推進会議	議長 國米 智洋	副議長 河本 啓彰	議員 藤本、玉田、松島、上山、山本（康）、齋藤（優）、神崎、光井、小松原、山形、入木、宮永、西村		
津山市市民憲章協議会	副会長 岡 孝男	事務局長 小松原 綾乃	事務局員 西村 絵理、森本 莉彩、齋藤 雄太、日笠 七菜子、高橋 良典		
渉外グループ	グループ長 山本 康太	副グループ長 小椋 一樹	メンバー 山形 朋椰、入木 圭、宮永 卓、西村 絵理		
広報・組織戦略プロジェクト	メンバー 河本 啓彰、西村 絵理、末永 亮、前田 哲弥、齋藤 雄太、日笠 七菜子、宮永 卓、植月 優、田中 陽祐、永禮 達大、高橋 良典				
出向支援グループ	メンバー 延原 健、朝比奈 京平、前田 哲弥、植月 優、永禮 達大、森本 莉彩、齋藤 雄太、日笠 七菜子、梶並 敬典、八木 海雄士、高橋 良典				

2025 年度新会員

区分	氏 名	勤 務 先	役 職
新加入者	梶 並 敬 典	菅田株式会社	管理本部次長
	高 橋 良 典	株式会社 OVER The THREE	代表取締役
	八 木 海雄士	sakura 工業	

以上 3 名

一般社団法人 津山青年会議所
各会議・室・プロジェクト及び各委員会活動基準

総務委員会

1. (一社) 津山青年会議所の目的達成のための計画の 統括管理及び実施推進
2. 総会の運営及び総会資料の蒐集並びに理事会および例会の議事録 の作成及び保管、管理
3. 防災・減災・復旧に関する事項
4. 広報・組織戦略プロジェクトの企画調整
5. 定款・規約に関する事項
6. (一社) 津山青年会議所の組織に関する事項
7. 入会、休会及び希望退会の受付並びに自動退会及び除名の取り扱い
8. 慶弔に関する事項
9. 仮入会者に関する事項
10. 他の会議体・委員会に属さない事項
11. 拡大候補者リストの管理、共有（専務理事との協力）
12. V I S I O N 推進会議への参画

V I S I O N 推進会議

1. J C I TSUYAMA 2021VISION【VIVID TSUYAMA ひとに気づきとまちに築きを】の推進
2. (一社) 津山青年会議所の目的達成のための計画の 統括管理及び実施推進
3. 事業計画及び事業予算の検討調整
4. 各室間の連絡調整
5. 新年懇親会の企画・設営・実施

ひとつづくり室

1. 月例会の企画・運営統括及び通知の発行
2. 納涼会、望年会・卒業式の企画・設営・実施
3. ひとつづくり室に所属する各委員会、プロジェクトの企画調整
4. 会員拡大の実施、推進
5. V I S I O N 推進会議への参画

まちづくり室

1. 津山納涼ごんごまつり並びに津山まつりへの参画
2. 「鶴山を考える会」への参画
3. 全国城下町青年会議所連絡協議会への参画
4. まちづくり室に所属する各委員会、プロジェクトの企画調整
5. 会員拡大の実施、推進
6. V I S I O N 推進会議への参画

財政局長

1. 予算書及び決算書の精査
2. コンプライアンスに基づく各会議・委員会の事業及び議案の審査
3. アジェンダシステム及び事業計画書フォーマットの管理
4. 渉外に関する事項への積極的参加を促す手法の検討及び企画・設営・実施
5. 対外的行事に関する会合の連絡及び通知の発行
6. 各地 J C の行事に関するメンバー参加の掌握
7. 地域・行政・他団体・各地 J C との交流及び情報交換の実施推進
8. 事務局の管理・運営及び掌握
9. J C ボックスの管理
10. 会員名簿の作成及び保管・管理
11. 出版物の整理及び保管
12. 補助金・助成金に関する情報収集と助言
13. 会議・委員会会計の指導・支援

会員研修委員会

1. 会員開発に関する事項
2. 青年経済人としての会員の研修に関する事項
3. 公開例会の企画・設営・実施
4. 会員拡大の実施・推進
5. その他会員に関する一切の事項
6. 日本青年会議所、中国地区協議会及び岡山ブロック協議会への委員会に関する事項
7. 中国地区コンファレンス・岡山ブロック協議会出向支援グループへの参画

指導力育成委員会

1. 新会員に関する事項
2. 新会員研修会の企画・設営・実施
3. 会員の指導力育成に関する事項
4. 公開例会の企画・設営・実施
5. 会員拡大の実施・推進
6. 日本青年会議所、中国地区協議会及び岡山ブロック協議会の委員会に関する事項
7. 中国地区コンファレンス・岡山ブロック協議会出向支援グループへの参画

まちづくり委員会

1. 地域活性化のための諸問題に関する事業の企画・設営・実施
2. 公開例会の企画・設営・実施
3. 会員拡大の実施・推進
4. 日本青年会議所、中国地区協議会及び岡山ブロック協議会の委員会に関する事項
5. 中国地区コンファレンス・岡山ブロック協議会出向支援グループへの参画

未来創造委員会

1. 青少年、教育のための諸問題に関する事業の企画・設営・実施
2. 津山市民憲章推進協議会事務局の統括・運営
3. 公開例会の企画・設営・実施
4. 会員拡大の実施・推進
5. 日本青年会議所、中国地区協議会及び岡山ブロック協議会の委員会に関する事項
6. 中国地区コンファレンス・岡山ブロック協議会出向支援グループへの参画

広報・組織戦略プロジェクト

1. 女性活躍組織戦略の調査・提言・実施
2. ウェルビーイングに関する事項
3. 広報に関して各会議との連携・統括
4. 会員拡大の実施・推進（女性会員拡大のための手法の検討）
5. SNS を活用した広報活動の実施推進
6. （一社）津山青年会議所ホームページの活用・運用
7. 報道機関との連携及びPR推進
8. 日本青年会議所及び各地JCとの意見情報の交換及び蒐集
9. 褒賞及び表彰に関する事項

一般社団法人津山青年会議所 収支予算書
2025年1月1日から2025年12月31日まで

(単位:円)

科 目	2025年度	備考
I 一般正味財産増減の部		
1. 経常増減の部		
(1) 経常収益		
受取入会金	1,000,000	
受取入会金	1,000,000	50,000×20名
受取会費	5,925,000	
正会員受取会費(全期)	5,100,000	正会員34名
正会員受取会費(後期入会者)	750,000	75,000円×10名
特別会員受取会費	75,000	外部監事1名
賛助会員受取会費	0	
事業収益	0	
登録料収益	0	
業務受託収入	0	
雑収入	0	
受取補助金等	0	
受取国庫補助金	0	
受取地方公共団体補助金	0	
受取民間補助金	0	
受取負担金	0	
受取負担金	0	
受取寄付金	150,000	
受取寄付金	150,000	JCボックス等
募金収益	0	
雑収益	619,000	
受取利息	1,000	
その他雑収入	54,000	OB会事務委託費・JCカード還元
津山市民憲章受託費	264,000	22,000×12ヶ月
OB会通信費	300,000	3,000×100名
経常収益計	7,694,000	
(2) 経常費用		
事業費	4,307,000	
会場設営費支出	0	
人件費支出	0	
会場費支出	0	
設営費支出	0	
企画・演出費支出	0	
演出費支出	0	
本部関係費支出	444,000	
設営費支出	0	
渉外費支出	444,000	東北A・JC合同研修会、岡山ブロック大会、野球大会
講師関係費支出	0	
記念品代支出	0	
資料作成費支出	0	
作成費支出	0	
保険料支出	0	
雑費支出	0	
委員会運営費支出	3,863,000	各会議体、委員会事業費

(単位:円)

科 目	2025年度	備考
管理費	4,484,980	
会議費	624,400	理事会、次年度理事会、例会、各種 会議員会議費、研会活動費
役員報酬	0	
給料手当	1,010,000	
退職給付費用	0	
福利厚生費	0	
旅費交通費	0	
通信・発送費	300,000	電話代金等
消耗品費支出	320,000	
リース料支出	130,680	コピー機リース料
印刷製本費支出	765,000	報告書 名簿、あした
光熱水料費支出	96,000	電気代(12ヶ月)
賃借料支出	463,200	事務局・ルームの家賃、商工会館 公益費、JC倉庫の賃賃料
業務委託費支出	312,700	会計アドバイザー料・HP製作費・ワーキング タイル料・ドメイン更新料金
インフォメーション関係費支出	21,000	津山朝日新聞社
渉外費支出	292,000	
雑支出	150,000	
負担金支出	724,960	
JCI負担金支出	88,660	1,794円／44名
日本JC負担金支出	250,000	日本JC会費30,000円、日本 JC付加金5,000円／44名
地区協議会負担金支出	44,000	1,000円／44名
ブロック協議会負担金支出	110,000	2,500円／44名
国際協力資金支出	80,300	1,825円／44名
We Believe購読料支出	132,000	3,000円／44名
日本JC出向者負担金	20,000	20,000円／1名
経常費用計	9,516,940	
評価損益等調整前当期経常増減額	0	
基本財産評価損益等	0	
特定資産評価損益等	0	
投資有価証券評価損益等	0	
評価損益等計	0	
当期経常増減額	△ 1,822,940	
2. 経常外増減の部		
(1) 経常外収益	0	
経常外収益計	0	
(2) 経常外費用	0	
経常外費用計	0	
当期経常外増減額	0	
他会計振替額	0	
当期一般正味財産増減額	△ 1,822,940	
一般正味財産期首残高	8,583,371	
一般正味財産期末残高	6,760,431	
II 指定正味財産増減の部	0	
当期指定正味財産増減額	0	
指定正味財産期首残高	0	
指定正味財産期末残高	0	
III 正味財産残高	6,760,431	